

# 篠島・日間賀島の概要



篠島

shinojima



日間賀島

Himakajima

令和4年度版  
愛知県南知多町



# 目次

1. 沿革	1
2. 両島の概要	2
篠島	2
人口	2
産業	2
生活環境	5
教育	5
医療	5
日間賀島	6
人口	6
産業	6
生活環境	9
教育	9
医療	9
3. 各種データ・補足説明	10
自然	10
気象概況	10
月別気象データ	11
人口	12
国勢調査	12
住民基本台帳	13
年齢別人口（国勢調査）	14
産業別就業者数	15
国勢調査	15
事業所数	16
H28 経済センサス-活動調査-	16
漁業	17
漁業経営体の基本構成（漁業センサス第11～13次）	17
主とする漁業種類別経営体数（漁業センサス第11～13次）	17
漁港施設の概要	18
魚種別漁獲金額・漁獲量（属人集計）	18
魚種別水揚量（属人集計）	19
観光	20
観光客数、宿泊収容能力の推移	20
目的別観光客数	21
航路	22
定期航路の状況	22

離島交通費助成事業.....	23
自動車等の保有状況.....	23
教育.....	23
保育所の状況.....	23
小学校の状況.....	24
中学校の状況.....	24
水道.....	25
廃棄物処理状況.....	25
消防・防災.....	26
消防施設等の整備状況.....	26
防災施設の整備.....	26
医療.....	27
医療施設数及び医療従事者数.....	27
医療施設概況.....	27
4. 歴史（明治以降）.....	28
篠島.....	28
日間賀島.....	31
5. トピックス.....	34
篠島.....	34
日間賀島.....	39

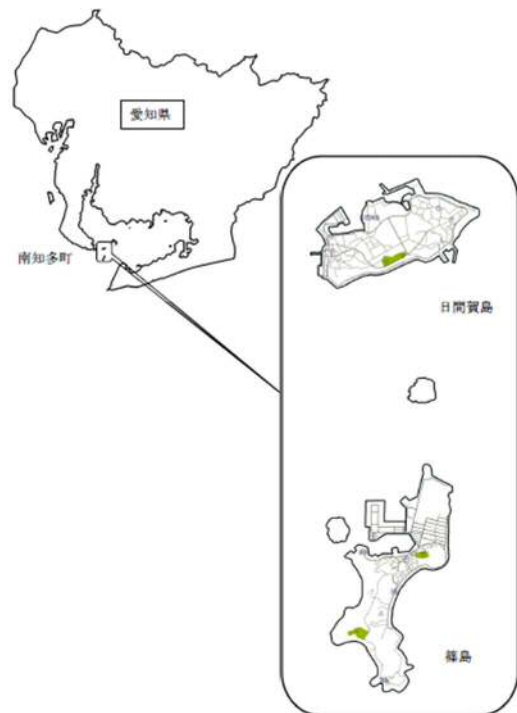
# 1. 沿革

南知多町は、知多半島南部に位置し、半島の先端と沖合に浮かぶ篠島・日間賀島等の島々から成り立っています。北は美浜町、東は三河湾、南西は伊勢湾に面し、面積は 38.37 km<sup>2</sup> あります。東西に 15.0 km、南北に 12.1 km で、北西部の伊勢湾側には半島最高の高峰山 128 m があり、南部に高く北部に低い地形です。

本町は、知多半島南部の内海町、豊浜町、師崎町、篠島村及び日間賀島村の 5 か町村が合併して昭和 36 年 6 月 1 日に誕生しました。

愛知県には「愛知三島」と総称される 3 つの離島があり、本町にはその 2 つ「篠島」「日間賀島」があります。この篠島・日間賀島は、いずれも本土から比較的近距离にあります。この離島ゆえに持つ自然的・土地的条件により、本土と比較し島民生活には様々な制約があります。そうした格差是正、島民生活の安定、福祉の向上を図るため、篠島村、日間賀島村、一色町（佐久島は昭和 29 年 8 月 1 日に一色町と合併）及び県の強い働きかけによって、昭和 32 年 12 月 23 日の第 7 次指定において、離島振興法（昭和 28 年制定）の指定地域「愛知三島」として一括離島振興対策実施地域に指定されました。以後 3 島振興のため、国、県、市<sup>1</sup>、町が一体となり、事業を継続実施し、各種の振興策を進めています。

また、風光明媚であるため、三河湾の島しょ景観の中心として 3 島とも昭和 33 年 4 月に三河湾国定公園に指定され、さらに平成 3 年 3 月に三河湾地域リゾート整備構想の重点整備地区に指定されています。



<sup>1</sup> 平成 23 年 4 月 1 日に西尾市、一色町、吉良町、幡豆町の 1 市 3 町が合併し、「西尾市」となりました。



## 2. 両島の概要

### 篠島

#### ■概要【令和2年国勢調査】

島名	面積	人口	高齢化率	世帯数
篠島	0.94 km <sup>2</sup>	1,518 人	34.5%	583 世帯



篠島マスコットキャラクター  
「しらっぴーな」

篠島は、本土から最短距離で 3.0 km の南東海上に位置する面積 0.94 km<sup>2</sup>、周囲 8.2 km の島で、全域が三河湾国定公園に指定されています。地質は主に石英、斜長石、黒雲母、角閃石の鉱物からできている花崗閃緑岩で、南北に細長い地形をなした本島と、その北部に位置する木島、中手島、小磯島、築見島、南部には野島・松島など多くの無人島から成り立っています。このうち中手島、小磯島は昭和 49 年に 17.2ha の埋め立てが行われ、現在は本島陸続きになっております。

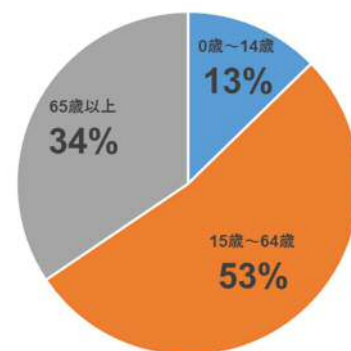
そして、島の西部から南部にかけて標高 49.1m の地点を頂点に起伏の険しい地帯が続いており、侵食が進んでいるところもあります。

人家は、篠島漁港に面する北部から、東部の海水浴場に至るまでの間に密集した状態で集落を形成しています。

### 人口

令和 2 年の国勢調査では 0 歳～14 歳が 193 人 (13%)、15～64 歳が 802 人 (53%)、65 歳以上が 523 人 (34%) となっています。

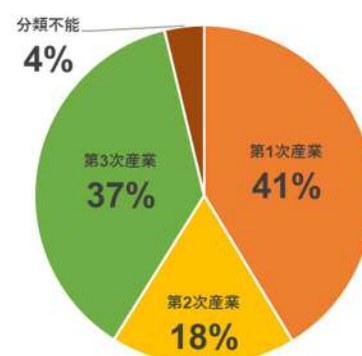
令和 4 年 3 月 31 日の住民基本台帳では 1,537 人、高齢化率 34.3% (65 歳以上人口 527 人) となっており、人口減少及び高齢化が進んでいます。



### 産業

令和 2 年国勢調査での産業別就業者数は第 1 次産業 340 人 (41%)、第 2 次産業 145 人 (18%)、第 3 次産業 307 人 (37%)、分類不能業種 31 人 (4%) で構成されています。

第 1 次産業は漁業、第 2 次産業は水産加工業、第 3 次産業は宿泊・飲食サービス業が主となっています。



## 水産業

水産業は船引網などの漁船漁業が主体で、魚種はシラス等の水揚げが多く、水産加工業も盛んです。シラスは漁港単位で漁獲量日本一とされています。また、冬場には、ノリ、ワカメのほか、県内初となるカキの養殖も行っています。近年は水産資源の保護増殖を図るため、アワビ、トラフグ、ナマコ、ミルクイ等の種苗放流も行っています。



篠島の漁船



篠島漁港内の様子



シラス水揚げの様子

## 観光

観光は本土の師崎港から船で約10分と交通の便も比較的良好なため宿泊施設も多く、受入体制が整っています。主に海水浴、釣りを目的とする観光客が多く、令和3年度は年間約14万9千人が訪れています。

最近では、シラス、ハモ、鯛、アワビ等地元食材を活かした夏の旅行プランが組まれており、観光客誘致を図っています。



篠島海水浴場



篠島つり天国



しらす丼

800年以上続くといわれる伊勢神宮への鯛の奉納「おんべ鯛<sup>2</sup>」の島として知られており、「**タイとフグの島**」としてPRに力を入れています。島内には、「帝井<sup>3</sup>」、「清正の枕石<sup>4</sup>」など多くの史跡があるほか、万葉の丘・歌碑公園から眺める夕陽が美しく、NPO法人日本列島夕陽と朝日の郷づくり協会によって「日本の夕陽百選」に選ばれるなど、古くから風光明媚な島として「東海の松島」とうたわれてきました。

平成8年には、漁協青年部が中心となって「海の釣堀・篠島つり天国」を開設し、タイやハマチ、アジなど大小様々な魚が放流され、釣り客の人気スポットになっています。

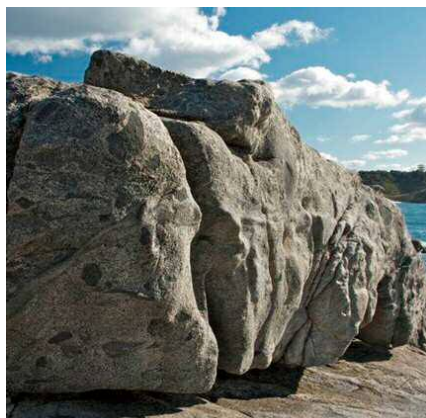
また、島で自生するアシタバ、特産品のしらすを用いた料理や商品を開発、平成10年からは、「おんべ鯛」の伊勢神宮への奉納行事を昔ながらの唐櫃に入れ漁船で運ぶ古式に復活するなど、観光振興に取り組んでいます。平成17年度には、島の周囲に100年ほど前に祀られた88体の石仏をお参りする「山弘法参り」の環境整備を行い、名称を「島弘法」巡りに変えて新たな観光資源として復活させました。篠島に「知多四国八十八ヶ所霊場めぐり」の札所（38番・39番・番外）があり四季を通じて全国から多くの人を訪れます。

平成26年には篠島渡船場が整備され、船の切符売り場、観光案内所、売店を備えた複合施設「島の駅 SHINOJIMA」が完成しました。

平成29年4月には太一岬にある「キラキラ展望台」が恋人の聖地として認定を受けるなど、篠島では新しい観光スポットが増えています。



帝井



清正の枕石



松島

## <sup>2</sup>おんべ鯛

伊勢神宮の三大祭に備えられる神饌（しんせん：神に供える飲食物）の一つで鯛の塩漬けを海水で洗ってから天日干ししたものです。

## <sup>3</sup> 帝井

南朝の後醍醐天皇の息子、義良親王（後の後村上天皇）が島に漂着された際、飲料水を親王にさしあげるために掘られた井戸です。この井戸水は、愛知用水通水時まで島民の大切な飲料水でありました。

## <sup>4</sup> 清正の枕石

名古屋城を築城の際、石垣を担当した加藤清正が篠島・南風ヶ崎より石を切り出しましたが、どうしても運べなかった石を「清正の枕石」と呼んでいます。





島弘法



島の駅 SHINOJIMA



太一岬（キラキラ展望台）

## 生活環境

電気、水道、電話の普及率は100%となっています。また、し尿、ゴミについては島内で処理を行っていましたが、施設の老朽化やダイオキシン対策に伴い、し尿処理を平成14年4月から、ゴミは平成14年10月から半島側で処理を行っています。

埋立処分施設については平成28年度で埋立を終了したため、半島側で処理を行っています。なお、埋立処分施設は令和3年度に廃止しました。

## 教育

教育施設としては、鉄筋コンクリート造の小・中学校が各1校あります。昭和55年4月には、中高一貫教育を目指し、県立内海高校の分校が開校されていましたが、入学者数の減少により平成16年3月に廃校になりました。

平成8年には、篠島大字浦磯にプールも建設されました。社会教育関係施設として、昭和55年度に離島開発総合センターが設置され、学習・文化社会活動の拠点として利用されています。また、保育園（私立）が1か所設置されています。



篠島小・中学校

## 医療

医療関係では、平成5年1月に町が篠島診療所を建設し、同年3月に知多厚生病院附属として開設されました。現在、週5日、知多厚生病院所属医師が本土から通って診療を行っています。歯科も民間の医師により週3回開業されています。



篠島診療所



## 日間賀島

### ■概要【令和2年国勢調査】

島名	面積	人口	高齢化率	世帯数
日間賀島	0.77 km <sup>2</sup>	1,716 人	36.5%	593 世帯



日間賀島のマスコットキャラクター  
「たこみちゃん」

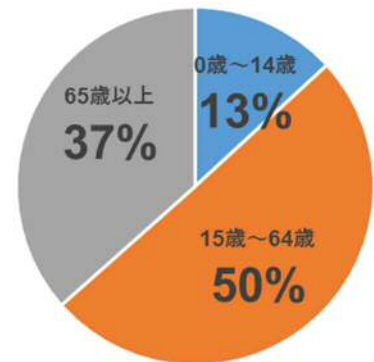
日間賀島は本土から最短距離で1.8kmの東海上にある面積0.77km<sup>2</sup>、周囲6.6kmの島で、全域三河湾国定公園に指定されています。地質は師崎層群の最も下部の地層から成り立っていて、砂岩、泥岩、凝灰岩等でできており、島の中央にある標高30.2mの小高い丘を中心として、周囲に向かってなだらかな丘陵地を形成しています。海岸一帯は侵食が著しいため昭和39年度から護岸の新設工事を進め昭和59年度に完成しました。

人家は、東海岸の里中地区と西海岸の西浜地区の漁港付近に密集し、それぞれ集落を形成しています。

## 人口

令和2年の国勢調査では0歳～14歳が226人（13%）、15～64歳が863人（50%）、65歳以上が627人（37%）となっています。

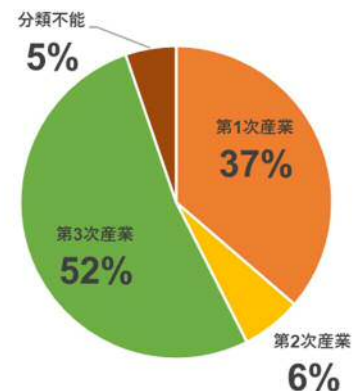
令和4年3月31日の住民基本台帳では1,767人、高齢化率37.0%（65歳以上人口654人）となっており、人口減少及び高齢化が続いています。



## 産業

令和2年国勢調査での産業別就業者数は第1次産業338人（36%）、第2次産業58人（6%）、第3次産業486人（52%）、分類不能業種49人（5%）で構成されています。

第1次産業は漁業、第2次産業は水産加工業、第3次産業は宿泊・飲食サービス業が主となっています。



## 水産業

水産業は小型底引網、刺網などの漁船漁業によるタコ、エビ、カニ、カレイ、トラフグ等の漁や冬場におけるノリ、ワカメの養殖で、これらの水産加工業も営まれています。また、近年は、水産資源の保護増殖を図るため、アワビ、トラフグ、ナマコ、ミルクイ等の種苗放流も行っています。



タコ漁



フグ入札の様子



海苔養殖の種付け

## 観光

観光は交通の便も比較的良く、宿泊施設も多く、受入体制も整っています。海水浴や釣り目的の観光客が多く、令和3年度は年間約16万6千人が訪れています。

多数の化石や、縄文・弥生時代の遺跡、6～7世紀頃の古墳群が存在するなど、古い歴史を持つ島でもあります。島に伝わる「タコと阿弥陀如来の伝説<sup>5</sup>」や、島付近でタコが豊富に捕れることに着目し、「タコの島」としてタコ料理やタコのキャラクター商品の開発、タコのモニュメントの設置などを推進してきました。近年では、稚魚の放流や魚礁の設置等によって漁獲量が増えたフグが特産品に加わったことから、「**多幸（タコ）の島、福（フグ）の島**」としてPRに努めています。



タコのモニュメント（西）



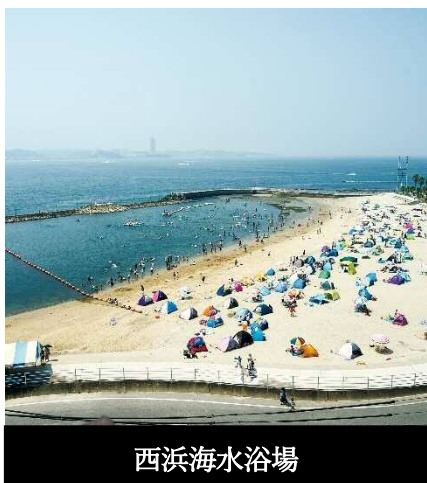
タコのモニュメント（東）

### <sup>5</sup> タコと阿弥陀如来の伝説

その昔、日間賀島と佐久島にあった島が地震により陥没しました。その後、その島にあった寺の阿弥陀如来像が漁師の網に掛かり、如来像を守るようにタコが絡みついていた。そのことが始まりといわれる「タコ阿弥陀如来」が安楽寺にまつられています。

日間賀島は島の自然を満喫できる体験学習プログラムの実践により大きな成果を上げてきました。しかし、社会環境の変化や近年の観光客の減少に対応するため、全国に通用する日間賀島のブランド化創業事業への取り組みを始めました。この取り組みは、島のあらゆる資源を観光資源にして「疲れる旅から元気になる旅」をテーマに滞在型観光地を創出し全国展開するもので、既存の漁業体験プログラムやキッズアドベンチャーに、新たに、低カロリーでミネラル分豊富な健康料理、イルカの介在療法などを加え、団塊の世代とジュニア世代をターゲットに何泊もできる日間賀島を目指しています。

また「知多四国八十八ヶ所霊場めぐり」の札所（37番）があり四季を通じて全国から多くの人を訪れます。





## 生活環境

電気、水道、電話の普及率は100%です。ごみについては、島内処理を行っていましたが、施設の老朽化やダイオキシン対策に伴い、平成14年10月から半島側で処理を行っています。埋立処分施設については、島内の既存施設を利用しています。し尿処理については、平成8年度より漁業集落環境整備事業（下水道）に着手し、平成15年8月より供用が開始され、生活環境の改善に成果を上げています。



漁業集落排水施設

## 教育

教育施設としては、鉄筋コンクリート造の小・中学校が各1校あり、中学校には昭和58年度に理科実験室などの特別教室も増築されました。また、昭和55年4月には、中高一貫教育を目指し、県立内海高校の分校が開校されていましたが、入学者数の減少により平成13年3月に廃校となりました。社会教育関係施設としては、昭和54年度に公民館が開設され、島民の社会活動の拠点として利用されています。また、保育所（町立）は1か所設置されています。



日間賀小学校



日間賀中学校

## 医療

医療関係では、平成12年3月に町が日間賀島診療所を建設し、同年4月に開設されました。現在、開業医が週4日本土から通って診療を行っています。歯科は島に常駐の民間医師が開業しています。



日間賀島診療所

### 3. 各種データ・補足説明

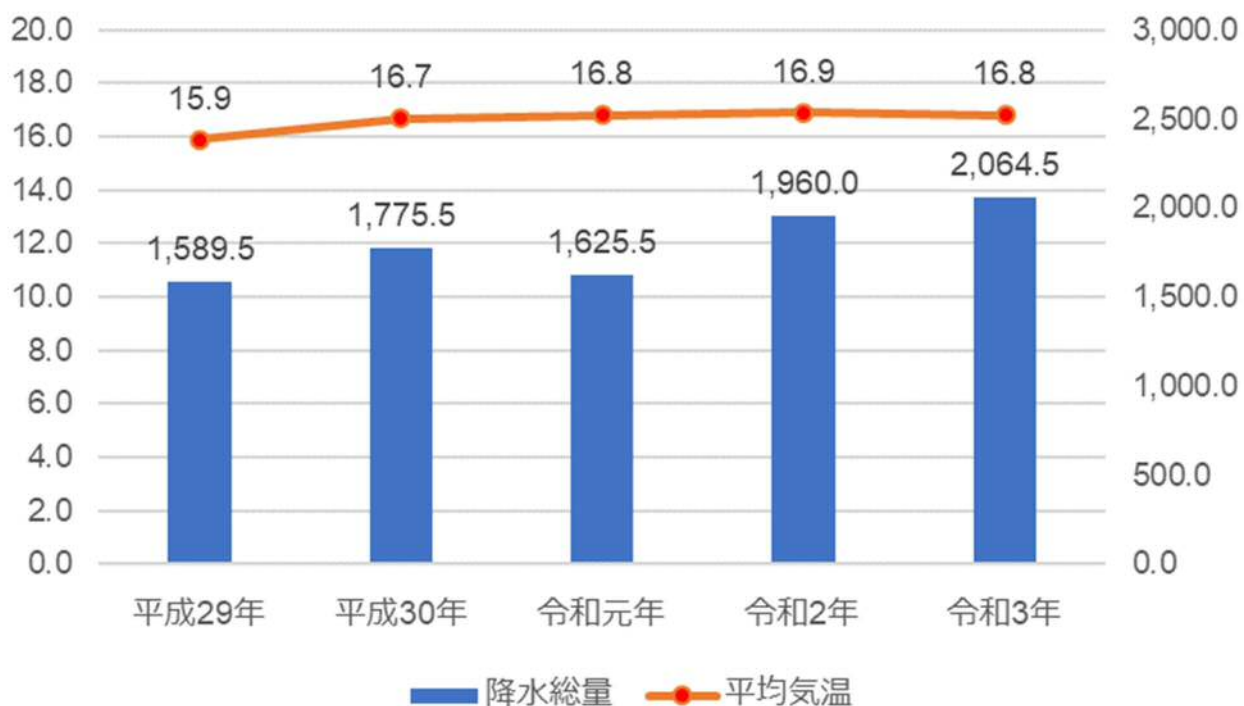
#### 自然

#### 気象概況

区分 年	気温（℃）			降水量（mm）	
	平均	最高	最低	総量	日最大降水量
平成29年	15.9	35.3	-2.2	1,589.5	220.0
平成30年	16.7	36.7	-3.2	1,775.5	146.5
令和元年	16.8	36.2	-2.0	1,625.5	169.0
令和2年	16.9	36.6	-2.5	1,960.0	138.5
令和3年	16.8	36.5	-1.4	2,064.5	107.0

資料：名古屋地方気象台

#### ■平均気温と降水総量の推移

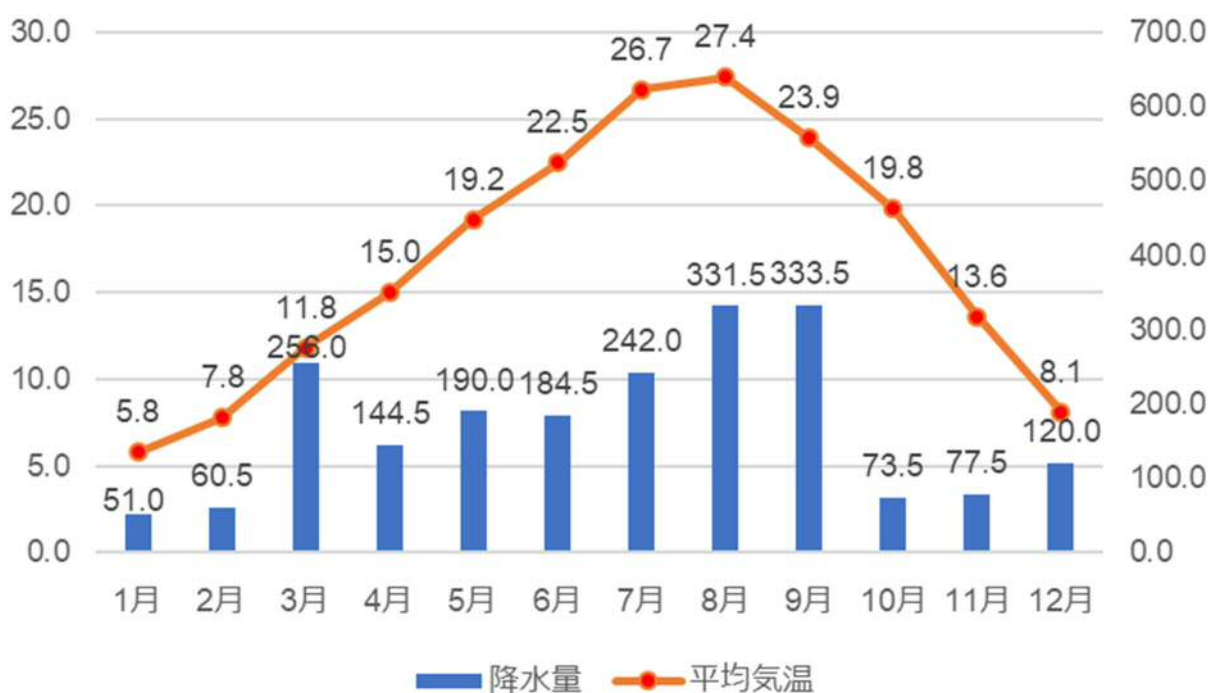


## 月別気象データ

(令和3年1月～12月)

区分	気温 (°C)			降水量 (mm)	
	平均	最高	最低	総量	日最大降水量
1月	5.8	14.9	-1.4	51.0	28.0
2月	7.8	21.0	-0.7	60.5	51.0
3月	11.8	23.1	3.7	256.0	70.0
4月	15.0	26.1	6.0	144.5	67.0
5月	19.2	29.1	9.7	190.0	56.5
6月	22.5	30.6	16.2	184.5	101.5
7月	26.7	34.6	20.9	242.0	107.0
8月	27.4	36.5	21.8	331.5	75.5
9月	23.9	30.9	17.7	333.5	67.5
10月	19.8	29.3	9.2	73.5	19.5
11月	13.6	22.7	2.3	77.5	41.5
12月	8.1	18.9	-0.8	120.0	31.0
年間	16.8	36.5	-1.4	2064.5	107.0

資料：名古屋地方気象台



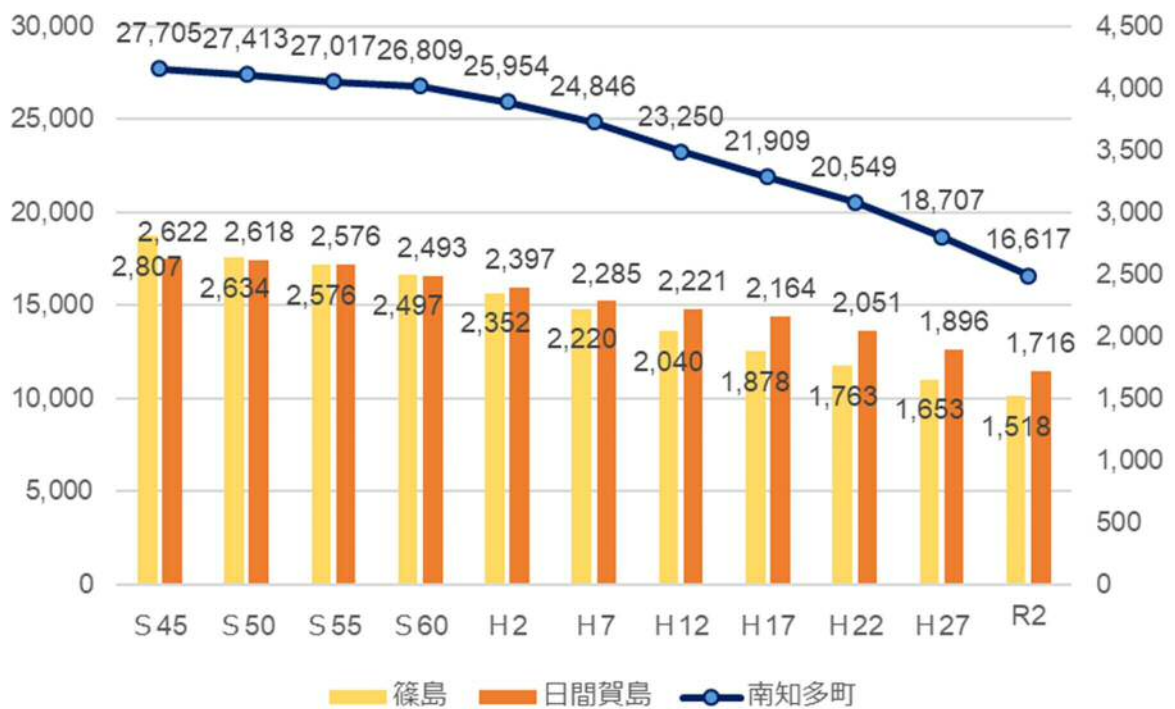


# 人口

## 国勢調査

各年 10 月 1 日現在

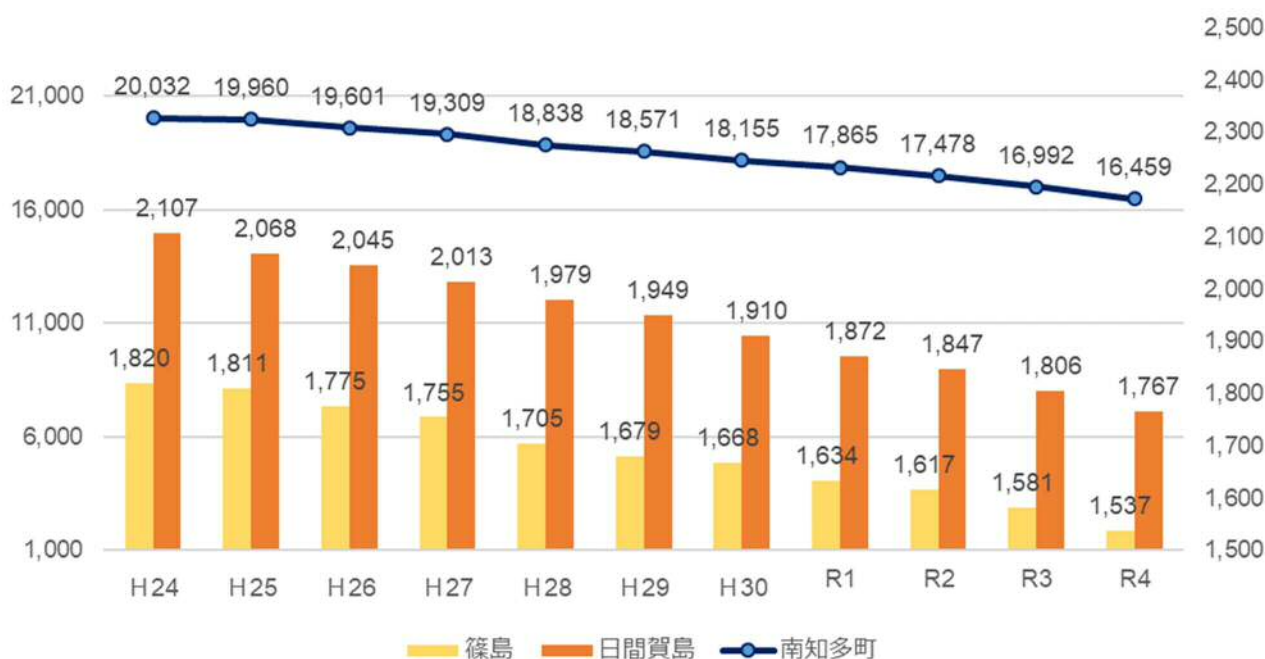
区分		S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
南知多町	人口(人)	27,705	27,413	27,017	26,809	25,954	24,846	23,250	21,909	20,549	18,707	16,617
	増減率	-2.0%	-1.1%	-1.4%	-0.8%	-3.2%	-4.3%	-6.4%	-5.8%	-6.2%	-9.0%	-11.2%
	世帯数	6,271	6,401	6,565	6,970	7,104	7,161	7,120	7,078	7,197	6,981	6,533
	増減率	2.4%	2.1%	2.6%	6.2%	1.9%	0.8%	-0.6%	-0.6%	1.7%	-3.0%	-6.4%
	世帯平均	4.4	4.3	4.1	3.8	3.7	3.5	3.3	3.1	2.9	2.7	2.5
篠島	人口(人)	2,807	2,634	2,576	2,497	2,352	2,220	2,040	1,878	1,763	1,653	1,518
	増減率	-9.2%	-6.2%	-2.2%	-3.1%	-5.8%	-5.6%	-8.1%	-7.9%	-6.1%	-6.2%	-8.2%
	世帯数	685	680	696	663	655	654	652	638	634	622	583
	増減率	-0.6%	-0.7%	2.4%	-4.7%	-1.2%	-0.2%	-0.3%	-2.1%	-0.6%	-1.9%	-6.3%
	世帯平均	4.1	3.9	3.7	3.8	3.6	3.4	3.1	2.9	2.8	2.7	2.6
日間賀島	人口(人)	2,622	2,618	2,576	2,493	2,397	2,285	2,221	2,164	2,051	1,896	1,716
	増減率	-3.7%	-0.2%	-1.6%	-3.2%	-3.9%	-4.7%	-2.8%	-2.6%	-5.2%	-7.6%	-9.5%
	世帯数	594	608	639	648	658	639	645	639	630	607	593
	増減率	5.3%	2.4%	5.1%	1.4%	1.5%	-2.9%	0.9%	-0.9%	-1.4%	-3.7%	-2.3%
	世帯平均	4.4	4.3	4.0	3.8	3.6	3.6	3.4	3.4	3.3	3.1	2.9



## 住民基本台帳

各年3月31日現在

区分		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
南知多町	人口(人)	20,032	19,960	19,601	19,309	18,838	18,571	18,155	17,865	17,478	16,992	16,459
	増減率	-1.8%	-0.4%	-1.8%	-1.5%	-2.4%	-1.4%	-2.2%	-1.6%	-2.2%	-2.8%	-3.1%
	世帯数	6,989	7,275	7,269	7,292	7,194	7,248	7,194	7,261	7,171	7,064	6,950
	増減率	-0.6%	4.1%	-0.1%	0.3%	-1.3%	0.8%	-0.7%	0.9%	-1.2%	-1.5%	-1.6%
	世帯平均	2.9	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4
篠島	人口(人)	1,820	1,811	1,775	1,755	1,705	1,679	1,668	1,634	1,617	1,581	1,537
	増減率	-1.1%	-0.5%	-2.0%	-1.1%	-2.8%	-1.5%	-0.7%	-2.0%	-1.0%	-2.2%	-2.8%
	世帯数	597	618	609	612	597	594	611	604	605	606	599
	増減率	-0.8%	3.5%	-1.5%	0.5%	-2.5%	-0.5%	2.9%	-1.1%	0.2%	0.2%	-1.2%
	世帯平均	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6
日間賀島	人口(人)	2,107	2,068	2,045	2,013	1,979	1,949	1,910	1,872	1,847	1,806	1,767
	増減率	-2.2%	-1.9%	-1.1%	-1.6%	-1.7%	-1.5%	-2.0%	-2.0%	-1.3%	-2.2%	-2.2%
	世帯数	636	629	627	620	612	616	613	611	612	613	608
	増減率	-0.5%	-1.1%	-0.3%	-1.1%	-1.3%	0.7%	-0.5%	-0.3%	0.2%	0.2%	-0.8%
	世帯平均	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	2.9	2.9



## 年齢別人口（国勢調査）

各年 10月1日現在

### 【5歳階級別】

区分	南知多町		篠島		日間賀島	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2
総数	18,707	16,617	1,653	1,518	1,896	1,716
0～4	512	343	69	52	82	58
5～9	619	523	65	71	92	82
10～14	692	605	70	70	87	86
15～19	858	607	73	49	73	63
20～24	914	707	61	50	50	41
25～29	798	549	50	53	71	55
30～34	798	673	82	50	87	61
35～39	838	718	77	95	110	80
40～44	1,030	805	100	78	107	102
45～49	1,037	1,000	110	95	100	113
50～54	1,297	999	108	105	143	94
55～59	1,325	1,270	124	106	125	130
60～64	1,517	1,286	120	121	150	124
65～69	1,739	1,435	154	116	184	144
70～74	1,362	1,601	133	145	133	171
75～79	1,242	1,214	109	116	128	123
80～84	1,073	1,016	79	84	93	105
85～	1,022	1,185	69	62	73	84
不詳	34	81	—	—	8	—

### 【3区分】

区分	南知多町		篠島		日間賀島	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2
0～14	1,823	1,471	204	193	261	226
15～64	10,412	8,614	905	802	1,016	863
65～	6,438	6,451	544	523	611	627
不詳	34	81	—	—	8	—



# 産業別就業者数

## 国勢調査

各年 10月1日現在

産業大分類	南知多町		篠島		日間賀島	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2
<b>総数</b>	<b>9,803</b>	<b>8,858</b>	<b>856</b>	<b>823</b>	<b>999</b>	<b>931</b>
<b>第1次産業</b>	<b>1,850</b>	<b>1,580</b>	<b>382</b>	<b>340</b>	<b>384</b>	<b>338</b>
農業	579	539	0	0	0	0
林業	0	0	0	0	0	0
漁業	1,271	1,041	382	340	384	338
<b>第2次産業</b>	<b>2,379</b>	<b>2,186</b>	<b>101</b>	<b>145</b>	<b>57</b>	<b>58</b>
鉱業・採石業・砂利採取業	1	1	0	0	0	0
建設業	512	440	28	27	18	12
製造業	1,866	1,745	73	118	39	46
<b>第3次産業</b>	<b>5,450</b>	<b>4,704</b>	<b>370</b>	<b>307</b>	<b>548</b>	<b>486</b>
電気・ガス・熱供給・水道業	25	24	0	2	0	0
情報・通信業	39	40	0	0	1	0
運輸業・郵便業	383	359	21	26	25	27
卸売業・小売業	1,374	1,134	118	73	102	86
金融業・保険業	95	87	3	4	3	6
不動産業・物品賃貸業	45	60	0	0	0	3
学術研究・専門・技術サービス業	110	76	0	0	0	0
宿泊業・飲食サービス業	1,290	1,016	107	98	296	270
生活関連サービス・娯楽業	339	259	18	11	18	10
教育・学習支援業	237	231	27	30	25	27
医療福祉	706	682	27	23	26	20
複合サービス業	188	137	24	15	34	23
サービス業	405	427	17	18	7	10
公務	214	172	8	7	11	4
分類不能	124	388	3	31	10	49

# 事業所数

## H28 経済センサス-活動調査-

(平成 28 年 6 月 1 日現在)

産業大分類	南知多町		篠島		日間賀島	
	H28 活動調査		H28 活動調査		H28 活動調査	
	事業所	従業者	事業所	従業者	事業所	従業者
農林漁業	17	171	3	38	2	13
鉱業、採石業、砂利採取業	1	2	—	—	—	—
建設業	99	387	12	29	7	15
製造業	158	1,716	18	241	7	64
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—	—
情報通信業	2	5	—	—	—	—
運輸業 郵便業	39	327	5	31	5	23
卸売業 小売業	319	1,410	35	111	34	129
金融業 保険業	15	50	2	1	1	—
不動産業 物品賃貸業	15	43	—	—	—	—
宿泊業 飲食サービス業	276	2,138	45	216	73	515
医療、福祉	48	873	3	19	3	9
教育 学習支援業	18	38	1	1	1	1
複合サービス業	17	150	1	3	4	37
学術研究、専門・技術サービス業	16	37	—	—	—	—
生活関連サービス業、娯楽業	92	245	6	11	7	20
サービス業	96	372	6	15	7	12
公務	—	—	—	—	—	—
<b>総数</b>	<b>1,228</b>	<b>7,964</b>	<b>137</b>	<b>716</b>	<b>151</b>	<b>838</b>

# 漁業

## 漁業経営体の基本構成（漁業センサス第 11～13 次）

各年 11 月 1 日現在

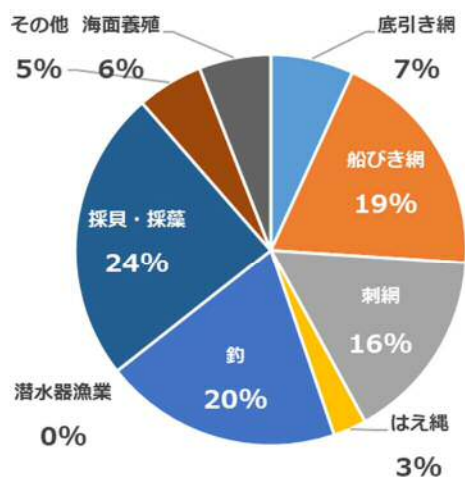
区分	篠島			日間賀島		
	H 20	H 25	H 30	H 20	H 25	H 30
漁業経営体数	204	210	219	307	276	237
無動力船隻数	—	—	—	—	—	—
船外機付船隻数	90	120	146	115	96	90
動力船	隻数	286	268	318	277	220
	トン数	1,974	1,865	1,933	1,729	1,234

## 主とする漁業種類別経営体数（漁業センサス第 11～13 次）

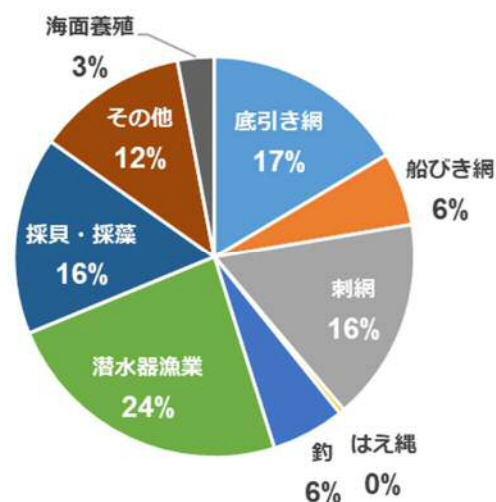
区分	篠島			日間賀島		
	H 20	H 25	H 30	H 20	H 25	H 30
底引き網	18	14	15	50	47	39
船びき網	36	35	42	21	16	14
刺網	33	33	35	43	39	39
はえ縄	7	4	6	12	—	1
釣	35	39	43	34	20	14
潜水器漁業	—	—	—	60	59	56
採貝・採藻	41	48	53	40	45	38
その他	17	19	12	42	43	29
海面養殖	17	18	13	5	7	7
総数	204	210	219	307	276	237

資料：産業振興課

【篠島】平成 30 年 漁業種類別経営体数



【日間賀島】平成 30 年 漁業種類別経営体数



## 漁港施設の概要

区分	種類		篠島		日間賀島	
			(第2種県管理)		(第2種町管理)	
基本施設	外かく施設	防波堤 (m)		1,682		1,642
		護岸 (m)		1,385		5,673
	けい留施設	物揚場 (m)		1,247		1,548
		船揚場 (m)		139		66
	水域施設	泊地 (㎡)		95,328		64,993
機能施設	臨港道路 (m)			3,165		4,516
	漁港施設用地 (㎡)			89,363		60,952
	荷捌所 (㎡)		2か所	3,392	1か所	200
	製氷施設 (t)		1か所	39	1か所	20
	冷凍施設 (t)		1か所	41		-
	冷蔵施設 (t)		1か所	165	1か所	103
	貯水施設 (t)		1か所	250	1か所	60
	給油施設 (最大貯油能力kl)		8か所	965	12か所	465

資料：漁港台帳（令和3年3月31日現在）、港勢調査（令和2年12月31日現在）

## 魚種別漁獲金額・漁獲量（属人集計）

令和2年12月末現在

区分		篠島			日間賀島		
		H30	R1	R2	H30	R1	R2
漁獲量	海面漁業 (t)	3,803	4,567	3,982	2,965	3,793	3,109
	海面養殖業 (t)	954	746	761	557	436	529
	計	4,757	5,313	4,743	3,522	4,228	3,638
漁獲高	海面漁業 (百万円)	3,105	2,105	1,845	2,860	2,578	2,042
	海面養殖業 (百万円)	286	260	238	170	152	169
	計	3,391	2,365	2,083	3,030	2,730	2,211

資料：港勢調査



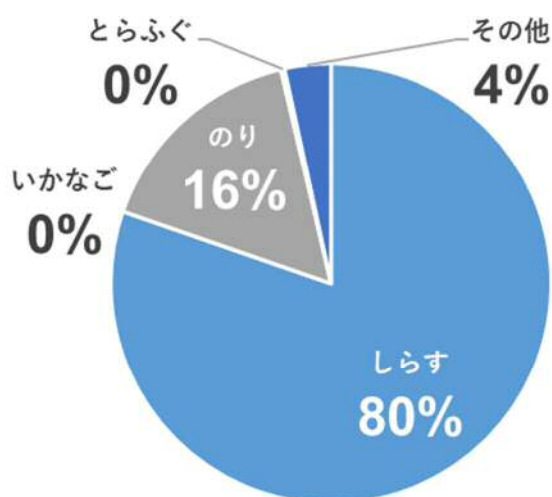
## 魚種別水揚量（属人集計）

令和2年12月末現在

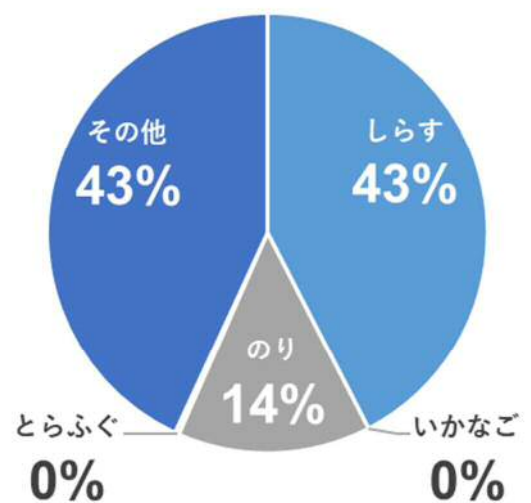
資料：港勢調査

区分	篠島			日間賀島		
	H30	R1	R2	H30	R1	R2
しらす (t)	3,106	4,339	3,808	1,238	1,895	1,543
(%)	65.3	81.7	80.3	35.2	44.8	42.4
いかなご (t)	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
のり (t)	954	740	761	549	425	516
(%)	20.1	13.9	16.0	15.6	10.1	14.2
とらふぐ (t)	11	12	13	11	13	11
(%)	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3
その他 (t)	686	221	161	1,724	1,895	1,568
(%)	14.4	4.2	3.4	48.9	44.8	43.1
総数 (t)	4,757	5,312	4,743	3,522	4,228	3,638
(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

【篠島】令和2年  
魚種別水揚量（属人集計）



【日間賀島】令和2年  
魚種別水揚量（属人集計）



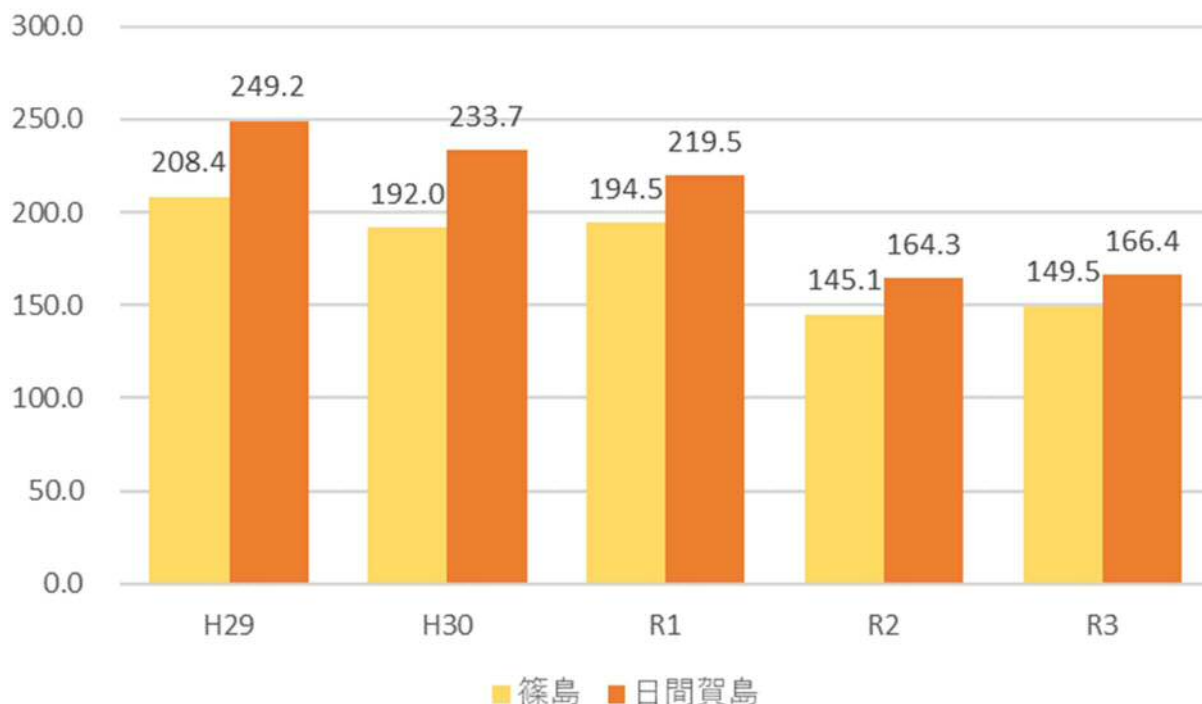
## 観光

### 観光客数、宿泊収容能力の推移

島名	年度	観光客数（千人）					旅館・ホテル		民宿	
		4月 ～ 6月	7月 ～ 9月	10月 ～ 12月	1月 ～ 3月	計	軒数	収容 能力 (人)	軒数	収容 能力 (人)
篠島	H29	52.3	106.0	28.1	22.0	<b>208.4</b>	12	546	21	576
	H30	50.0	85.9	34.1	22.0	<b>192.0</b>	12	488	20	523
	R1	53.3	85.7	33.4	22.1	<b>194.5</b>	12	507	20	506
	R2	34.1	64.1	30.3	16.6	<b>145.1</b>	12	502	18	454
	R3	40.3	54.7	34.9	19.6	<b>149.5</b>	12	502	18	454
日間賀島	H29	59.1	132.9	31.3	25.9	<b>249.2</b>	15	1,040	45	1,316
	H30	55.7	113.2	38.3	26.5	<b>233.7</b>	15	1,000	45	1,250
	R1	60.0	95.2	38.1	26.2	<b>219.5</b>	15	1,007	45	1,225
	R2	38.4	71.5	34.6	19.8	<b>164.3</b>	14	957	44	1,154
	R3	42.3	62.2	39.5	22.4	<b>166.4</b>	14	957	44	1,154

資料：産業振興課

#### ■観光客推移



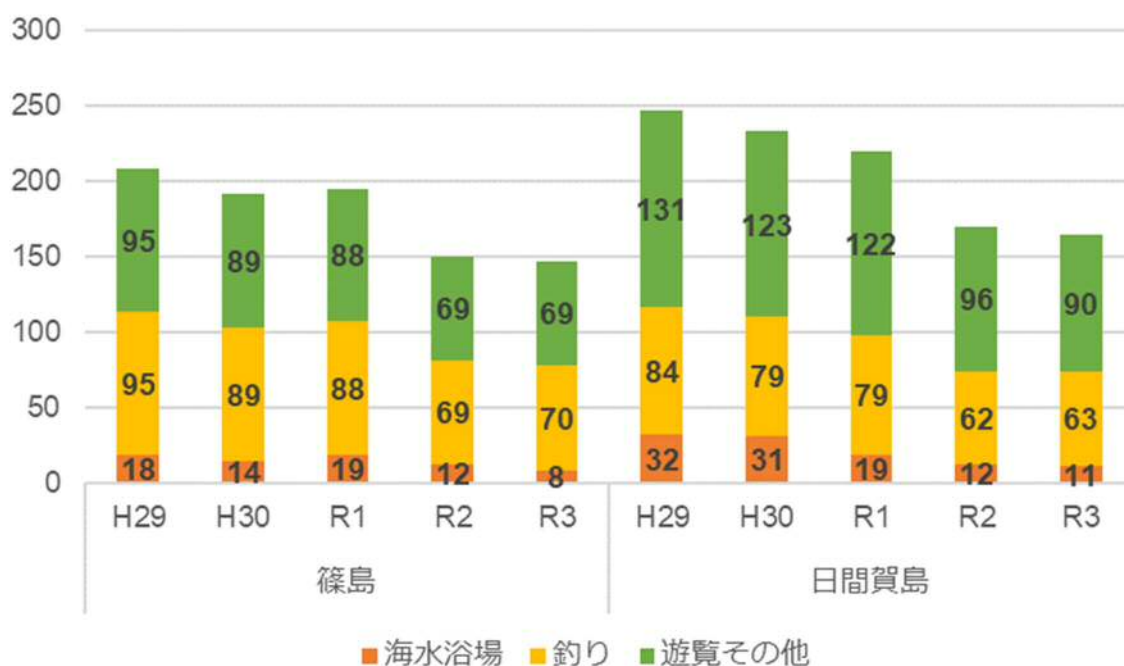
## 目的別観光客数

※1～12月基準

島名	年	目的別（千人）			計
		海水浴場	釣り	遊覧 その他	
篠島	H29	18	95	95	208
	H30	14	89	89	192
	R1	19	88	88	195
	R2	12	69	69	150
	R3	8	70	69	147
日間賀島	H29	32	84	131	247
	H30	31	79	123	233
	R1	19	79	122	220
	R2	12	62	96	170
	R3	11	63	90	164

資料：産業振興課

### ■目的別観光客数推移



# 航路

## 定期航路の状況

令和4年4月現在

島名	区間	距離 (km)	所要時間 (分)	就航回数 (日/往復)	運賃	事業者	就航船舶名	トン数 (t)	定員
篠島	師崎 ↕ 篠島	5.0	10 *20	23~24 *6	大人710円 (急行料含む) 小人360円	名鉄海上観光船(株)	海鷗1	19.0	86
	河和 ↕ 篠島				16.5		30	10	大人1,420円 (急行料含む) 小人 720円
日間賀島	師崎 ↕ 日間賀島	4.8	10 *20	23~24 *5	大人710円 (急行料含む) 小人360円		海鷗12	19.0	93
	河和 ↕ 日間賀島				13.5		西港20 東港25	10	大人1,420円 (急行料含む) 小人 720円
							イーグル3	45.0	94
							はやぶさ	61.0	125
							はやぶさ2	68.0	138
							はやぶさ3	64.0	127
							*しまゆり	276.0	93

資料：名鉄海上観光船株式会社

\*：フェリー

注：季節運航便含む

注：2島めぐり周遊券 河和～篠島・日間賀島～河和：大人2,800円、小人1,400円

師崎～篠島・日間賀島～師崎：大人1,500円、小人 750円





## 離島交通費助成事業

令和4年4月1日現在

区分	区間	助成額	割引券配布枚数
普通助成	篠島・日間賀島～師崎	大人 380円 (1往復) ※中学生を除く	大人16枚 (年間)
	篠島・日間賀島～河和		
子ども公共交通費無償化事業	篠島・日間賀島～師崎	中学生及び小学生 無料	-
離島高校生修学支援事業 (通学費補助)	篠島・日間賀島～師崎	上限144,000円 (年額)	
	篠島・日間賀島～河和		

資料：学校教育課、まちづくり推進室

## 自動車等の保有状況

各年4月1日現在

島名	年度	軽自動車 (台)	二輪車 (台)	原動機付自転車 (台)	小型特殊自動車 (台)	合計
篠島	R2	744	9	579	21	1,353
	R3	718	8	569	22	1,317
	R4	725	8	573	22	1,328
日間賀島	R2	579	24	756	1	1,360
	R3	578	22	729	1	1,330
	R4	583	26	740	2	1,351

資料：税務課

## 教育

### 保育所の状況

各年4月1日現在

保育所名	年度	園児数 (人)				総数
		0～2歳	3歳	4歳	5歳	
【私立】 篠島保育園	H30	5	17	13	11	46
	R1	5	7	17	14	43
	R2	6	8	8	19	41
	R3	4	21	9	8	42
	R4	6	5	22	7	40
【町立】 日間賀保育所	H30	10	19	21	16	66
	R1	10	16	18	21	65
	R2	3	18	16	19	56
	R3	9	7	18	13	47
	R4	5	12	7	18	42

## 小学校の状況

各年5月1日現在（令和4年度は4月7日現在）

小学校名	年度	学級数	児童数（人）						総数
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	
【町立】 篠島小学校	H30	8	18	13	14	17	10	9	81
	R01	8	11	18	13	14	17	10	83
	R02	8	14	10	18	12	14	16	84
	R03	8	18	14	10	18	12	14	86
	R04	8	8	17	15	10	18	12	80
【町立】 日間賀小学校	H30	8	20	19	26	20	13	13	111
	R01	8	9	20	19	26	20	13	107
	R02	8	22	16	10	19	10	21	98
	R03	8	20	21	15	10	18	9	93
	R04	9	11	20	19	14	10	18	92

資料：学校教育課

## 中学校の状況

各年5月1日現在（令和4年度は4月7日現在）

中学校名	年度	学級数	生徒数（人）			総数
			1年	2年	3年	
【町立】 篠島中学校	H30	5	18	12	13	43
	R01	5	9	18	12	39
	R02	5	10	9	18	37
	R03	3	16	9	9	34
	R04	3	14	16	9	39
【町立】 日間賀中学校	H30	4	19	13	13	45
	R01	5	25	19	13	57
	R02	5	18	26	19	63
	R03	5	20	18	26	64
	R04	5	9	20	18	47

資料：学校教育課

## 水道

令和4年3月31日現在

水道事業者	南知多町	稼働率 (日最大/給水計画)	44.6%
給水区域	篠島・日間賀島・佐久島	一般家庭の 月平均使用量	18.4m <sup>3</sup> /月
給水人口・水道普及率	3,153人・100.0%	年間給水量 (令和3年度)	548千m <sup>3</sup>
1日あたり給水量	最大計画	4,300m <sup>3</sup>	最大 1,918m <sup>3</sup>
	平均計画	2,150m <sup>3</sup>	平均 1,501m <sup>3</sup>

資料：水道課

日間賀島、篠島では、昭和37年に離島簡易水道整備事業による海底送水管（口径75m）が完成し、師崎経由での愛知用水からの送水が始まりました。その後、生活水準の向上、ノリ養殖等の進展、観光客の増大などに伴う水需要の増加に対応するため、昭和47年に南知多町及び一色町により愛知三島水道企業団が設立され、昭和48年には海底送水管（口径150mm）が日間賀島経由で、篠島、佐久島にそれぞれ布設され、三島への送水が開始しました。施設の老朽化に伴う漏水等により送水量が低下して慢性的な水不足となったことから、平成9年度から平成12年度までの4年間で、師崎～篠島間の海底送水管の布設替等を行いました。また平成22年度に師崎～日間賀島間1本（南ルート、口径150mm）の布設替を行いました。現在は師崎～日間賀島間2本（口径150mm）、師崎～篠島間1本（口径200mm）、日間賀島経由で佐久島へ1本（口径150mm）の送水管が布設されており、水道普及率は100%となっています。なお、昭和47年から愛知三島水道企業団が運営してきた三島の水道事業は、平成13年度に南知多町水道事業へ統合されました。海底送水管を始め、水道施設の管理運営などに多額の経費を要するため、三島の水道料金と本土との料金格差は大きな課題でありましたが、給水区域内の安全で平等な供給を目指し、平成17年度から段階的な値下げを経て、平成20年度から本土と同一料金になりました。

## 廃棄物処理状況

島名	内容	し尿処理施設	ごみ焼却施設	埋め立て処分施設	漁業集落排水事業
篠島	処理能力	本土にて処理	本土にて処理	H29～本土にて処理	－
	竣工年月	－	－	S57.3	－
	建設事業費	－	－	303,909千円	－
日間賀島	処理能力	漁業集落排水施設にて処理	本土にて処理	26,625m <sup>3</sup>	計画処理人口5,800人
	竣工年月	－	－	H6.3	全島供用開始H16.4
	建設事業費	－	－	478,435千円	2,683,115千円

資料：環境課、水道課

## 消防・防災

### 消防施設等の整備状況

令和4年4月1日現在

島名		篠島			日間賀島			
年度		R2	R3	R4	R2	R3	R4	
消防団員数（人）		61	61	61	61	61	61	
消防機械	小型動力ポンプ（台）	6	6	6	6	6	6	
	小型動力ポンプ積載車（台）	5	5	5	4	4	4	
	消防広報車（台）	1	1	1	2	2	2	
消防水利	消火栓（基）	17	17	17	21	21	21	
	防火水槽	40㎡以上（基）	9	9	9	12	12	12
		40㎡以下（基）	0	0	0	0	0	0

※消火栓は水利基準以上のもの

資料：防災危機管理室

人家が密集し道路も狭く、火災は大惨事に結びつく恐れがあることから、迅速な初期消火に向けて、消防団員や知多南部消防組合分遣所員の指導の下に毎年消火訓練を実施し、島民の防火意識の向上、徹底に努めるとともに、消防体制、消防施設の整備を推進しています。常備消防においては、平成29年度より知多南部消防組合篠島分遣所及び日間賀島分遣所が設置され、常勤職員が2名勤務しています。

### 防災施設の整備

日間賀島では平成15年に、篠島では平成16年に自主防災組織を立ち上げ、防災倉庫や避難所資材等、防災資機材を順次整備しています。

災害対策として、平成23年の東日本大震災を受け、津波災害時の一次避難場所として日間賀島は日間賀中学校（標高22.6m）、篠島は篠島防災センター（標高25.0m）等を指定しています。さらに平成23年7月には、道に不慣れな観光客のために日間賀島・篠島に128箇所の津波避難経路看板を設置しました。平成25年2月には日間賀島・篠島に新たに各2箇所（計4箇所の津波避難指示案内板）を設置するとともに、日間賀保育所の園庭内に耐震防火水槽1基を設置しました。平成26年度においては津波一次避難所に避難の目標となる避難場所表示看板（太陽光発電式発光サイン）を全7箇所に設置するとともに、情報伝達手段のさらなる拡充のため、同報デジタル防災行政無線を整備し、全7箇所に屋外拡声子局（うちモーターサイレン付3基）を設置しました。また、離島では災害時に孤立する恐れがあることから、孤立した場合にも役場との連絡調整や島内への情報伝達が正確かつ円滑に進むよう、日間賀島防災センター（平成28年3月竣工）及び篠島防災センター（平成29年3月竣工）を建設しました。





日間賀島防災センター



篠島防災センター

## 医療

### 医療施設数及び医療従事者数

令和4年4月1日現在

島名		篠島	日間賀島
医療施設	診療所	診療所数	1
		病床数	0
	歯科診療所	1	1
医療従事者	医師	1	1
	歯科医師	1	1
	看護師	3	1
	歯科衛生士	0	0
	保健師	0	0
	助産師	0	0
	搬送施設等	0	0

資料：健康子育て室

### 医療施設概況

島名	篠島	日間賀島
医療施設	知多厚生病院附属篠島診療所	日間賀島診療所
診療部門	内科、小児科	外科、内科、皮膚科
診療日	週5回（月～金）	週4日（火・水・金・土）
開設日	平成3年10月	平成12年3月

資料：健康子育て室

## 4. 歴史（明治以降）

### 篠島

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
明 治			
1869	2	名古屋藩に属す	
1871	4	額田県第1大区に属す	
1872	5	愛知県成立、第7大区に属す	
1873	6		龍門学校開校
1874	7	当時戸数 267 戸、人口 1,066 人（男 574 人、女 432 人）	篠島小学校と改称
1876	9	師崎村、日間賀島村と合併し鴻崎村となる	
1881	14	鴻崎村が分かれ篠島村となる	
1887	20	この頃「おしょくり船」（生鮮輸送船）経営される	小学校令により篠島学校設置
1892	25		
1898	31	亀崎衣ヶ浦汽船 k k 「豊勢丸」貨客定期航路に就航	
1899	32		古城館が設立される
1900	33	県水産試験場本場が篠島村に移転、製造工場新設	
1902	35	篠島村郵便受取所開設	
1903	36	県水産試験場に製造工場を増築し、缶詰製造機等を完備	
1905	38	篠島村郵便受取所が篠島郵便局と改称	
1907	40	この頃篠島駐在所が設置される	
1908	41		篠島尋常高等小学校となる
1911	43	篠島村漁業組合設立登記公告	篠島尋常高等小学校、東山1番地に校舎新築
大 正			
	初期	当時有松よりタテしぼりを導入	
1913	2		山弘法巡り始まる
1918	7	篠島電気株式会社による送電開始	小学校に水産補修学科を併設
1919	8	県水産試験場本場が県庁に移転、製造設備を篠島に置く	
1920	9	師崎～篠島間の無線電信開通	
1922	11	県水産試験場が篠島の製造工場を廃止	
1924	13	台風被害甚大	
1926	15		
昭 和			
1927	2	役場改築	
1933	8	篠島漁港完成	
1934	9	海底電話線敷設、加入者 12 名	
1937	12	シラス漁始まる	
1941	16		篠島国民学校と改称
1947	22	中部配電株式会社による海底ケーブルで知多半島（片名）より送電開始	篠島村立篠島小学校と改称、篠島村立篠島中学校創立
1948	23		
1949	24	篠島漁業協同組合設立	
1952	27	篠島漁港が第2種漁港に指定される 遠洋漁業開始	
1953	28	台風 13 号による被害甚大	篠島中学校校舎を現所在地に新築し移転
1957	32	離島振興対策実施地域に指定される	
1958	33	三河湾国定公園に指定される	
1959	34	伊勢湾台風による被害甚大	
1961	36	篠島村、合併により南知多町となる	篠島保育園開所
1962	37	簡易水道完成（海底送水管により愛知用水通水）	篠島小学校給食室竣工 篠島中学校技術教室竣工 篠島中学校給食室竣工
1963	38		41 年から 43 年にかけて海底遺跡調査
1964	39		
1968	43	篠島支所竣工	
1969	44	ごみ焼却場完成（処理能力 4t/日）	

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
1970	45	ワカメ養殖始まる 電話自動化 篠島区診療所新築、篠島消防詰所併設 篠島地区老人センター開設 簡易水道拡張工事完了 篠島漁港完工	
1971	46	篠島老人憩の家開設	篠島小学校屋内運動場完成
1972	47	愛知三島水道企業団発足	
1973	48	フェリー「オリーブ」就航	
1974	49	公有水面埋立、面積 172,795 m <sup>2</sup>	
1975	50	篠島漁港地先埋立工事完了	
1976	51		万葉歌碑建立
1977	52		篠島中学校へき地集会室兼屋内運動場完成
1978	53	知事、愛知三島視察 中部電力が高圧海底ケーブル敷設	
1979	54	し尿処理施設完成(処理能力 4k1/日) 定期航路に高速船「海燕」が導入される	篠島中学校校舎改築竣工 「篠島史跡」復刻
1980	55		篠島中学校校舎改築、給食室竣工 県立内海高等学校篠島分校開校 篠島開発総合センター完成
1981	56	展望台完成 稚アワビ初放流	
1982	57	不燃物埋立処分地完成(埋立容量 4,141m <sup>3</sup> ) 篠島沖でフェリー海難訓練実施	
1984	59	町防災訓練実施(篠島中学校) フェリー乗船場移転、フェリー「はまつばき」就航	
1985	60		第1回篠島ハイキング大会開催 神明社貝塚発掘調査
1986	61	篠島支所が篠島開発総合センターへ移転	篠島小4年生が野島で野営体験(「野島サバイバル」) 篠島小学校校舎大規模改修
1987	62	篠島パークゴルフ場開設	
1988	63	ごみ処理施設完成(処理能力 5t/日) 篠島乗船センター全面移転 北山公園完成	篠島保育園新園舎完成
平成			
1989	元		帝井が町史跡に指定される
1990	2	国土利用計画法による監視区域に指定 知事、愛知三島視察 篠島漁港(加工場用地)完成	
1991	3	三河湾地域リゾート整備構想重点整備地区に指定 知多厚生病院附属篠島診療所開設	
1992	4	不燃物埋立処分地嵩上工事完了(埋立容量 4,141 m <sup>3</sup> → 8,316 m <sup>3</sup> )	県立内海高校篠島分校体育館完成 ふるさとづくり事業により舟型山車完成
1993	5	新診療所施設完成	
1994	6	第3回愛知の豊かな海づくり大会	南風ヶ崎遺跡発掘調査
1996	8	国土利用計画法による監視区域を解除 つり天国(篠島漁協直営)開設	篠島小学校プール完成
1998	10	ごみの分別収集開始 篠島パークゴルフ場閉鎖	古式に則った伊勢神宮へのおんべ鯛奉納行事復活 正法禅寺の梵鐘・雲版が町文化財に指定される
2000	12	海底送水管敷設替完了(師崎～篠島)	
2001	13	生きがい活動支援センター設置 愛知三島水道企業団解散(離島水道事業を南知多町水道事業に一元化)	

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
2002	14	篠島し尿処理施設閉鎖（本土側衛生センターへ搬送開始） 行政情報システム整備事業により住民用端末設置 篠島ごみ処理施設閉鎖（本土側クリーンセンターへ搬送開始）	学校給食調理施設を本土側の施設に統合
2003	15		篠島小学校が第35回中日教育賞受賞
2004	16	フェリー「しまゆり」就航 国土交通省による「離島ツアー」開催	県立内海高校篠島校舎閉校
2005	17	役場支所を廃止し篠島サービスセンターを開設 師崎港駐車場供用開始	
2006	18		篠島小学校移転（南風崎7番地、中学校と同一敷地） 山弘法を復興し、島弘法と改称
2007	19	篠島海水浴場を「サンサンビーチ」と命名	
2008	20	篠島観光ガイド発足 しらすのマスコットキャラクター「しらっぴー」を作成	
2009	21		「島の宝100景」に「伊勢神宮に奉納される御幣鯛」が選ばれる
2011	23	知事、愛知三島視察（10月10日）	名古屋城築城の際に用いた矢穴の残った残石「矢穴石」を名鉄海上観光船乗り場前の広場に設置
2012	24	篠島ステンレス配水池新設、給水開始（2月9日） 全国離島振興協議会支部事務局長会議開催	篠島ウミガメ隊発足 名古屋城へ矢穴石を寄贈
2014	26	篠島渡船ターミナル（島の駅 SHINOJIMA）竣工	
2015	27		御遷宮祭（神明神社・八王子社 遷座祭・奉祝祭）
2016	28	篠島防災拠点施設建設工事竣工	篠島開発総合センター耐震工事
2017	29	「太一岬 キラキラ展望台」が恋人の聖地に認定	
令和			
2020	2	情報通信で光回線が接続	スマートアイランド推進実証調査業務 （遠隔授業の実証調査）



# 日間賀島

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
明治			
1869	2	名古屋藩に属す	
1870	3	三軒の押送り船	
1871	4	額田郡第1大区に属す	神明八王子宮を日間賀神社と改称
1872	5	愛知県成立、第7大区に属す	
1873	6		鳴鳳学校を大光院に創設
1876	9	師崎村、篠島村と合併し鴻崎村となる	
1877	10		日間賀学校と改称
1881	14	鴻崎村が分かれ日間賀島村となる	
1887	20	共同販売所を設立	簡易小学日間賀学校と改称
1888	21	角石航路標識建設	
1889	22	日間賀島村役場を大光院に設置	
1890	23	この頃水害で小戸浜の家が流される	
1891	24	水産社が西里に設立（魚類の販売を行う）	日間賀尋常小学校と改称
1892	25		日間賀尋常小学校に補修科を設置
1895	28	この頃「大福丸」という発動機船運航	
1896	29	消防組設立	
1901	34	呑海院全焼、新井浜、小戸浜、久湊港の石垣工事 この頃から養蚕開始	
1902	35	日間賀郵便受取所を開設	この頃小学校運動場拡張
1903	36	東西の部落に漁業組合販売所が設立	
1904	37		呑海院再建
1905	38	日間賀郵便受取所が日間賀郵便局に改称	
1906	39	鈴木甚助氏ら大阪商船から汽船を借用、運送開始	
1908	41	島の養蚕盛んになる	
1911	44		日間賀尋常小学校校舎を現在地に新築
大正			
1912	元	日間賀漁業協同組合設立 役場が小戸地30番地から新井浜68番地に移転	
1913	2	この頃日間賀島駐在所設置	
1914	3	北川仲造氏が漁船に初の発動機取り付け 東西に保証責任漁業協同組合を設立	
1919	8	有松よりタテしぼり導入	
1925	14		日間賀尋常高等小学校と改称
1926	15	養蚕組合設立	
昭和			
1930	5	知多湾電気株式会社による送電開始、電燈点燈 日間賀～師崎間に海底電話線敷設 電信・電話業務取扱いが始まる	
1932	7	里中、久湊、小戸浜、新井浜、西浜、北浜などの浚渫護岸 工事施工	
1936	11	電話回線が9本に増設	
1940	15	役場が永峯19に移転	
1941	16	久湊港修築工事、新井浜護岸工事	日間賀国民学校と改称
1942	17	日間賀村農会が設立され役場内に事務所設置	
1943	18	東西漁協が合併し日間賀島村漁業組合が発足、役場内に 事務所設置	
1944	19	日間賀島村農業会設立、日間賀島村漁業会設立	
1947	22	中部発電株式会社による海底送電ケーブルで知多半島から 送電開始	日間賀島村立日間賀小学校と改称 日間賀島村立日間賀中学校創設
1948	23	日間賀島村農業協同組合と改称、漁業会市場を併設	日間賀中学校校舎新築

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
1949	24	漁業協同組合が東西に分離	日間賀中学校校舎増築
1951	26	農業協同組合設立、農業協同組合支所が新井浜に開設 東西1号線の整備	
1952	27	日間賀漁港が第2種漁港に指定	
1953	28	台風13号により被害甚大	
1955	30	約千本の松を社御座に植林	
1956	31	農協支所が廃止	
1957	32	離島振興対策実施地域に指定される	島内にテレビが入る
1958	33	三河湾国定公園に指定される	
1959	34	伊勢湾台風による被害甚大	日間賀小学校校舎災害復旧工事
1960	35		北地古墳群（4号墳、6号墳）発掘調査
1961	36	日間賀島村、合併により南知多町となる	日間賀中学校校舎新築 新井浜貝塚発掘調査
1962	37	簡易水道が完成（海底送水管により愛知用水通水）	上海2号墳発掘調査
1964	39		日間賀中学校校舎改築
1965	40		日間賀給食センター竣工
1967	42	島内の民宿業始まる	
1968	43	東西の漁業協同組合が合併し日間賀島漁業協同組合となる 海苔養殖始まる	
1970	45	日間賀地区診療所新築 簡易水道拡張工事完了 電話自動化	日間賀小学校校舎改築竣工
1972	47	愛知三島水道企業団発足	
1973	48	愛知三島水道企業団による広域簡易水道増補改良事業竣工 フェリー「オリーブ」就航	日間賀保育所開所
1974	49	農用地開発事業開始 ごみ焼却場完成（処理能力4t/日） 日間賀島西老人憩の家開設	
1976	51	日間賀島東老人憩の家開設	日間賀小、中学校へき地集会室兼屋内運動場完成 北地古墳群（5号墳、8号墳）発掘調査 北地古墳群（11号墳、14号墳）発掘調査
1978	53	知事、愛知三島視察 団体営農地開発事業日間賀地区完了、面積15.4ha 中部電力が高圧海底ケーブル敷設	
1979	54	し尿処理施設完成（処理能力4kl/日） 定期航路に高速船「海燕」が導入される	全国へき地教育研究大会の開催（日間賀中学校） 日間賀島公民館完成
1980	55	不燃物埋立処分地完成	県立内海高校日間賀島分校開校
1982	57	日間賀島農協、南知多農協と合併	
1983	58	初の本格的な防災訓練実施 日間賀島西老人憩の家竣工 町防災訓練（日間賀小学校）	第1回日間賀島さわやかジョギング大会
1984	59	海底送水管一部敷設替 フェリー乗船場移転、フェリー「はまつばき」就航	日間賀中学校特別教室完成 内海高校日間賀島分校体育館完成
1985	60	海底送水管敷設替完了	北地古墳群（9号墳）発掘調査
1987	62		日間賀神社のお神楽が30年ぶりに復活
平成			
1989	元	日間賀島のり加工団地開業（新井浜港）	日間賀島資料館開館
1990	2	国土利用計画法による監視区域に指定 知事、愛知三島視察	
1991	3	東浜海水浴場「サンライズビーチ」オープン 三河湾地域リゾート整備構想重点整備地区に指定 西浜海水浴場「サンセットビーチ」オープン	
1992	4	ごみ処理施設完成（処理能力5t/日）	ふるさとづくり事業によるタコのモニュメント完成
1993	5	不燃物埋立処分地完成（埋立容量26,625m <sup>3</sup> ）	

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
1994	6	県内離島初の信号機点灯 わかしやち国体炬火採火式（サンライズビーチ）	
1995	7	日間賀島おみやげセンター完成	
1996	8	国土利用計画法による監視区域解除	
1997	9		新井浜貝塚発掘調査
1998	10	ごみの分別収集開始	
2000	12	日間賀島診療所完成（4月より業務開始）	
2001	13	生きがい活動支援センター設置 愛知三島水道企業団解散（離島水道事業を南知多町水道事業に一元化）	県立内海高校日間賀島校舎閉校
2002	14	日間賀島し尿処理施設閉鎖（本土側衛生センターへ搬送開始） 行政情報システム整備事業により住民用端末設置	学校給食調理施設を本土側の施設に統合
2003	15	漁業集落排水施設一部供用開始（8月より）	第1回市民サイクルパラダイス in 日間賀島
2004	16	フェリー「しまゆり」就航 国土交通省による「離島ツアー」実施	
2005	17	役場支所を廃止し日間賀島サービスセンターを開設 師崎港駐車場供用開始	
2008	20	国土交通省「地域いきいき観光まちづくり 2008」滞在力のあるまちに選定	サンセットビーチに時計台建造
2009	21		「島の宝 100景」に「ほうろく祭り」が選ばれる 子育て支援センター「ちびっこひろば」開設 ひまかドルフィンキッズ発足
2011	23	知事、愛知三島視察（10月10日）	
2012	24	全国離島振興協議会支部事務局長会議開催 日間賀島ボランティアガイド発足	
2013	25	日間賀島駐在所の移転	
2014	26	日間賀島配水池（No.2）供用開始	
2015	27	日間賀島防災拠点施設建設工事着工	
2016	28	日間賀島防災拠点施設建設工事竣工	
2019	31	日間賀島渡船ターミナル（ひまポ）竣工	
令和			
2019	元	国家戦略特区制度を活用した「ぐるりーバス」運行開始	
2020	2	情報通信で光回線が接続 スマートアイランド推進実証調査業務 （グリーンスローモビリティ実証調査）	スマートアイランド推進実証調査業務 （遠隔授業の実証調査）

## 5. トピックス

### 篠島

#### ◇「島弘法」巡り

篠島は古くから歴史の島として知られ、今も数多くの史跡、名勝が残っています。漁業が盛んな島ですが、明治の終わりごろ島の漁船に海難事故が相次ぎ、中には命を落とした人もいました。そこで遺族を中心とする島民の有志が集まり、犠牲者の霊を慰め、海上の安全と大漁を願って島内の海を見渡せる道沿いに八十八体の弘法様をつくったのが「山弘法」の始まりとされています。以来いつからか春の弘法命日の日には、島民がこぞってお弁当を持ち弘法巡りをするようになり、この日は学校なども休みとなって島民の手軽な春の行楽として定着していましたが、昭和40年代の経済成長期に入ると次第に「山弘法参り」をする人も少なくなっていました。

そんな中、平成17年度より若手の町観光協会篠島支部会員のなかで「山弘法をもう一度見直してみてもどうか」との声が広がり、支部で事業化が承認され広報宣伝部の若手を中心におかみ会なども加わって取り組みが始められました。

今回の復旧事業で「山弘法」の風習をもう一度見直し再整備することで、名称を「島弘法」と変えて新しい観光資源とし、また、海の見えるコースを歩いて回るということで、来島客だけでなく島民にも篠島の景観の美しさを感じてもらい、健康づくりにも役立ててもらえるもの、さらには、島民に島の文化を再認識してもらおうきっかけになりうるものと期待されています。

今後は「島弘法」の中心コースとなる棚橋～牛取～赤石地区をはじめとする島内全域の環境美化・整備などをすすめていくことで、子供たちにも島を愛する心の育成・郷土の誇りを感じてもらえるよう、また、「島弘法」が島の「宝」、「光」となるよう活動の輪を広げていくことが計画されています。



弘法様



幟旗と祠が整備された島弘法



弘法様の命日に行われたPR活動  
(あさり汁等の振る舞い)



## ◇篠島小学校の郷土学習

篠島小学校では、郷土を誇りに思う気持ちを育もう、自分たちで島のためにできることをしようと、児童が継続的な浜の清掃活動(篠島ウミガメ隊)、郷土料理実習、観光案内資料づくりなどに取り組んでいます。

平成23年夏、ウミガメが前浜(観光客で賑わう海水浴場)に産卵したことを契機に、「ウミガメが産卵に来る美しい浜を目指して」を合い言葉の下、全校児童参加による「篠島ウミガメ隊」が組織



篠島ウミガメ隊の活動

されました。毎年、年度当初に結団式を行い、ウミガメの産卵期となる夏までは、毎週水曜日の登校時に前浜の清掃活動を行っています。夏季休業中も自主参加で、また、2学期以降も月1回のペースで活動を継続しています。

郷土料理実習は、6年生が11月に「郷土料理を学ぶ会」と称してトラフグを使った実習を行っています。これは、地域素材の種類や生態、漁法を学び、それらの調理実習を通して郷土理解を深めることを目的にしています。島内のホテルを会場にフグ調理資格を持つ調理師の方からトラフグのさばき方や毒のある部位などを学んだ後、学校へ戻ってフグしゃぶ、フグ鍋、雑炊づくりに挑戦し、「郷土の味」を堪能しています。

観光案内資料づくりは、主に総合的な学習の時間を活用して高学年が取り組んでいます。

6年生では、島内の史跡や名所を調べ、観光客に向けて手作りリーフレットを作成し、篠島の魅力について情報発信しています。また、5年生では、観光客が「清正の枕石」へ迷わず訪ねることができるよう手づくり観光案内板を作成し、ルートの各所に設置しています。



郷土料理を学ぶ会



「枕石」への観光案内板



## ◇観光ガイド

平成 20 年 7 月に宿のおかみなどが中心となり、観光客と一緒にウォーキングしながら島の名所を案内する観光ガイド（有償）が発足しました。初級(90分コース)と上級(180分コース)の 2 コースがあり、篠島の歴史や自然の話をして観光客に篠島の魅力を広く伝えています。



観光パンフレット

## ◇特産宣伝キャラクター「しらっぴー」

篠島産しらすのブランド化を目指し、平成 20 年に水産物加工業協同組合が中心となって、しらす日本一を PR するしらすマスコットキャラクター「しらっぴー」が作成されました。

その後、平成 22 年度に着ぐるみやのぼり旗も作成され島内外の祭事イベントに参加し、愛くるしい姿でお祭りを盛り上げています。観光イベントにおいては「しらす」と「篠島」の PR 活動を行っています。



「しらっぴー」の着ぐるみとのぼり旗

## ◇名古屋城築城の史跡

篠島は約 400 年前に加藤清正が名古屋城築城の際に石を求めた場所です。近年の調査で石を割る時に掘られた矢穴の残った残石「矢穴石」が 22 箇所 337 個確認されています。

しかし残石の多くは海岸線に存在し、見学には安全上問題がありました。そのため、より多くの観光客の方々に安全に見学ができるように、渡船施設前の広場に矢穴の残った残石と案内看板を展示しました。島内部にある採石地跡には工事用足場で見学路を確保し安全に見学することができます。

また、平成 24 年度には篠島に残されていた 8 トン余りの矢穴石が名古屋城に寄贈されました。今後は歴史文化や観光の面で交流が期待されています。



矢穴石



案内板



名古屋城に寄贈された矢穴石

### ◇篠島と伊勢神宮

篠島は古代志摩国（三重県）に属していた歴史もあり、千年以上の昔から深いかかわりがあります。

篠島から「おんべ鯛」と呼ばれる塩漬けした鯛を毎年、伊勢神宮に奉納してきました。おんべ鯛の奉納は6、10、12月の3回に分けて行われます。特に10月には、「おんべ鯛奉納祭」を開催し、篠島漁港で盛大にイベントが行われ、唐櫃に入った鯛が島民の大きな歓声を受けて伊勢神宮へと船で送り出されています。

また、伊勢神宮では20年ごとに式年遷宮が行われており、この時に生じる古材は、篠島へと運ばれ島内の神明神社、八王子社として20年毎に蘇ります。最近では、平成25年に伊勢神宮の式年遷宮が行われ、2年後の平成27年に両神社の造営が行われました。



おんべ鯛奉納祭



神明神社

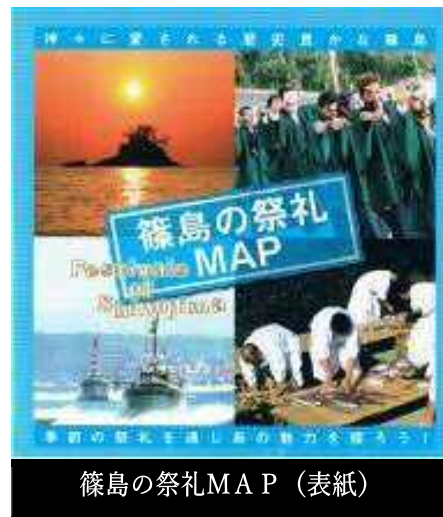


八王子社



また、この遷宮を機会として篠島の祭礼を記録する機運が高まり神々に愛される歴史豊かな篠島を発信するために篠島の祭礼MAPが作成されました。

篠島の祭礼MAPには篠島文化観光のためのおすすめ散策コース、「おまつりコース」、「歴史探索コース」の2コースが掲載されており、観光客のガイドブックとなっています。



篠島の祭礼MAP（表紙）

#### ◇恋人の聖地「太一岬 キラキラ展望台」

平成29年4月、篠島の南端にある「太一岬 キラキラ展望台」が、知多半島で初めて「恋人の聖地」に認定されました。「恋人の聖地」は、NPO法人地域活性化支援センターが、プロポーズにふさわしいロマンチックな観光地に対して認定しています。展望台の入口には伊勢神宮の古材で作られた鳥居が立っています。鳥居は伊勢神宮の方向を向いており、展望台を登れば渥美半島から伊勢湾までを一望できます。

また、展望台には愛の鐘が建てられ、そこから北へ600メートルほど離れた海水浴場前にも、サテライトスポットとしてモニュメントが建てられました。訪れた人が鐘を鳴らしたり、カギをかけられるようになっており、島の新しい観光スポットとしてPRされています。



展望台入口の鳥居



サテライトスポット

## 日間賀島

### ◇漁業体験プログラム（期間 4月～10月）

漁村での生活を通して自然に触れ、漁師がインストラクターになって本格的な漁業体験をするもので、観光協会、漁業協同組合、漁業者（漁師）が一丸となって取り組むなど、若い世代を中心として交流人口の拡大に努めています。

「ようこそ日間賀島、自然体験ワールドへ」と題し、タコのつかみどり、キス網漁、干物づくり、漁船クルージングなどのプログラムがあります。

### ◇海と空の自然学校

小学生を対象にゴールデンウィーク期間中に行われるメニューです。ジャングルアドベンチャー、ツリートレッキング、シェルアート、トランポリン、ハンドクラフトなどのほか、ビーチファイヤーといった夜間メニューもあります。



トランポリン



ツリートレッキング

### ◇キッズアドベンチャー

小学生を対象に夏休み期間中に行われるメニューです。ちびっ子ゲームランド、シュノーケリング、クラブフィッシング、シーカヤック、ミニサーフスクール、ハンドクラフトなどのほか、ビーチファイヤーといった夜間メニューもあります。



ビーチファイヤー



シーカヤック



## ◇健康料理

漁師から始まった民宿や旅館では、伊勢湾、三河湾の多彩な魚介類を使って、どう料理をすれば美味しいのか、何が体に良いのかを知り尽くした漁師ならではの料理が受け継がれています。低コレステロールで、血液を浄化し、肝機能を高める働きもあるといわれるタコのように、魚介類は、もともと低カロリーでミネラルが豊富であり、魚介類をふんだんに使いながらも1人前 800kcal に抑えたコース料理などの開発が行われています。



## ◇人とイルカとのふれあい事業

イルカとの触れ合いを通して自閉症児らの生活支援を目指すもので、18年度より実施されており、平成19年度には、一般の人に向けてのメンタルヘルス（心の健康）を増進するプログラムも実施されました。自然の海を使った珍しい取り組みで、専門家の間では日間賀島の自然の中で集中的に取り組むことにより、効果の向上や受け入れ人数を増やすことができると期待されています。



イルカとの触れ合い

## ◇ひまかドルフィンキッズ

子供たちがイルカの世話のお手伝いや島内の清掃活動を通し、コミュニケーションの大切さ、自然を大事にする気持ちを養うことを目的とした活動をしています。

また、日間賀島のビーチで、イルカの生態や飼育方法などの見学プログラムもあります。



西浜海水浴場清掃活動



### ◇日間賀島ちびっこひろば

母親の子育てに関する不安を少しでも解消することを目的とし、平成21年9月に子育て支援センター「ちびっこひろば」を開設しました。この「ちびっこひろば」は無償で利用することができ、母親同士のコミュニケーションの場となっています。

夏休みの繁忙期に勉強、宿題の面倒を見てあげられない母親の負担軽減の為、日間賀「kids station」が2021年に実施されました。



ちびっこひろば



コミュニケーションの様子

### ◇てっさ盛り付けコンテスト

毎年、10月に島の特産品のふぐを使った「てっさ盛り付けコンテスト」が開催されています。これは、島内の料理人が、日ごろ磨いた腕を競うほか、当日はふぐ汁も無料で配られるなど、ふぐの魅力をたっぷり堪能できるイベントとなっています。毎年、多くの来場者が集まり、料理人たちの見事な包丁さばきとふぐのおいしさに魅了されます。



優勝作品



第2位入賞作品

## ◇恋人ブランコ

日間賀島東港近くの高台にあるブランコで、高さ7メートルほどのクロマツの枝にぶらさげられています。ちょうど大人二人が寄り添って腰掛けられる幅のため、「恋人ブランコ」とも呼ばれています。

設置されたのは30年ほど前で、子ども向けの自然体験旅行の企画に合わせて作られました。テレビや雑誌に取り上げられる他、近年はSNS（ソーシャルネットワークサービス）を通じての人気も広がっており、島を代表する名所となっています。



恋人ブランコ

## ◇「ぐるりーバス」の運行

日間賀島は交通事業者の参入がないため、2002年頃から観光協会が夏場の繁忙期限定で無償のバスを運行していました。しかし、経費の増加や車両をリースしていたバス会社の車両整理により、2017年を最後に運行ができなくなりました。夏期に多くの観光客が訪れる日間賀島にとって、交通利便性の低下は影響が大きいものです。

その解決策として、2019年に国家戦略特区制度を活用し島内で「ぐるりーバス」が運行されました。2020年は運行中止となりましたが2021年には法改正により自家用車での有償旅客運送が可能となったことで多くの観光客に利用され、利便性の向上につながりました。

運行主体は日間賀島観光協会です。西港を起点として島内を循環する4.6キロメートルの路線です。1日13便、小学生以上1乗車100円で、観光客等1万人以上の利用があります。観光協会の費用負担が軽減されたことにより、持続可能な制度となり、日間賀島の観光サービス水準の向上につながっています。



ぐるりーバス

**【作成】**

南知多町役場 総務部 まちづくり推進室 地域振興係  
〒470-3495 愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪 18  
TEL0569-65-0711 FAX0569-65-0694  
Eメール [chiiki@town.minamichita.lg.jp](mailto:chiiki@town.minamichita.lg.jp)

